

(一社) 奈良県臨床心理士会会員の皆様へ

令和7年6月22日
一般社団法人 奈良県臨床心理士会
会長 石田 陽彦

一般社団法人奈良県臨床心理士会 第96回相互研修会のご案内

吹く風に夏の気配を感じるようになりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて表記の研修会を下記の要項で開催いたします。この研修が有意義なものとなりますよう多数のご参加をお待ちしています。

1. テーマ

『臨床を感じるどころ ～医療分野・教育分野と電話相談を通じて～』

2. 趣旨

奈良県臨床心理士会が当初から関わっている電話相談事業について、その意義や実際の現場について会員の皆様と共に学んでいきたいと思っております。実施している電話相談の成り立ちや構造を緒方優子先生に、医療現場や学校現場でのご経験を踏まえ、電話相談の臨床性と有用性について森真治先生と高橋幸子先生にお話しいただきつつ、臨床心理士が真に寄り添うとはどういうことかを考えていく機会になればと存じます。

3. 期 日 令和7年7月13日(日) 10時00分～16時00分

4. 会 場 帝塚山大学学園前キャンパス 18号館
(近鉄学園前駅より南側へ徒歩約1分 〒631-8585 奈良市学園南 3-1-3)

※駅を出て歩道橋を渡らず、下を通って横断歩道を渡ってください。

※駐車スペースはございません。

5. 日程および内容（予定）

9:30～	受付開始
10:00～10:10	趣旨説明
10:10～10:20	開会挨拶 石田陽彦 先生（当会会長）
10:20～10:50	事業概要「電話相談事業のはじまりと現在」 説明者：緒方優子 先生（事業事務担当）
10:50～12:00	話題提供「電話相談から臨床を感じるころ」 話題提供者 森真治 先生（電話相談員／奈良大学臨床心理センター） 主に医療領域で勤務されながら、電話相談を通して感じることをお話しいただきます。 高橋幸子 先生（電話相談員／波の家 福祉会） 中学校教員から臨床心理士となり、電話相談に携わる中で感じることをお話しいただきます。 全体司会：坂崎理史 先生（当会研修委員／電話相談員） ※休憩・質疑応答含む
12:00～13:00	昼食休憩
13:00～14:10	パネルディスカッション「医療分野・学校分野と電話相談（仮）」 パネリスト：森真治 先生 高橋幸子 先生 司会：坂崎理史 先生 ※質疑応答含む
14:10～14:20	休憩
14:20～15:10	グループディスカッション
15:10～15:30	全体討議
15:30～16:00	部会活動

6. 参加資格 (一社) 奈良県臨床心理士会の会員（正会員・準会員・賛助会員）
および他都道府県臨床心理士会会員等

7. 参加費 正会員：無料 準会員：1000 円 その他：3000 円

8. 参加申込 人数把握のためなるべく事前申し込みをお願いいたします。
ただし当日受付も可能です。
下記の Google フォームよりお申し込みください。

申込先 <https://forms.gle/fTtnxFfKVF8x7T1D7>

申込締切：令和 7 年 7 月 1 0 日（木）



9. その他

(1) 研修ポイントについて：本研修会は(財)日本臨床心理士資格認定協会の定める教育研修規定に基づく研修会です。講師等は4ポイント、受講者は2ポイント（全日の参加）を申請予定です。

(2) 年会費のお支払いについて：銀行振り込み、または受付でもお支払いいただけます。